





# 振り返りシート



サイトの内容を楽しく振り返っていきましょう。

該当するページを見たらチェックを入れていこう！

## 世界に目を向けよう

チェックリスト...思いついたことや気が付いたことがあれば、四角い欄に書き込もう！

→  
チ  
ェ  
ッ  
ク  
！  
→  
備  
考  
欄

世界において「絶対的貧困」の状態にある人々は12億人に上る。

貧困の連鎖は世界でも起こっている。

世界の成人のおよそ6人に1人は読み書きができない。

開発途上国は、日本の、そして世界の大切なパートナーである。

貧困をなくすには次世代を担っていく人材の育成が重要である。

ヒント...下の画像を参考に探してみよう！

**絶対的貧困の国では IN THE COUNTRY OF THE ABSOLUTE POVERTY**

- ここでは世界で起きている子供の貧困問題について説明します。

世界銀行が2013年に発表したレポートによると、世界において一日1.25ドル(約150円)で暮らす「絶対的貧困」の状態にある人々は12億人に上り、世界人口の約5分の1を占めるそうです。

特にサハラ以南のアフリカには世界の貧困国数の3分の1以上が集中しています。  
(※世界銀行は2015年10月、物価変動から国際貧困ラインを1日1.25ドルから1.90ドルに改定しました。)

**絶対的貧困とは WHAT IS 'ABSOLUTE POVERTY' ?**

世界銀行で用いられる概念で、人間として最低限の生活を営むことができないような状態の貧困状態をいう。飢餓、栄養不良、不健康、教育の欠如など人間らしい生活から程遠い状態を指す。

**■ 前変化のわな**

自然災害や環境破壊などによって伝統的な生計手段を失っていくことが困難になり、貧困に転落しやすい脆弱な人々がいる。病気や失業、教育の遅さ、社会的差別といった問題は、それぞれが影響し合います。

ひとたびその悪循環に陥ってしまうと、貧困から脱却するのは困難になります。これは「前変化のわな」と呼ばれ、貧困削減に取り組みの大きな課題となっています。

貧困や脆弱性を克服しておくことは、貧困の根絶や社会格差の縮小を促進させ、社会を不安定化する要因になるという深い。貧困の連鎖は世界でも起こっているのです。

**求められる教育 REQUIRED EDUCATION**

- ここでは世界の貧困国における教育の必要性について説明します。

世界には字に読めない子どもがどれくらいいるか知っていますか？

- 就学年齢に達しても小学校に通っていない子ども 約5,800万人
- 読み書きのできない大人 約7億人、10億人 (United Nations World Education Indicators, 2014)

今、世界の成人のおよそ6人に1人は読み書きができません。戦争や飢饉、女性であるというだけで教育を受けられない現状があります。飲み水や食べ物に困る生活の中でも、「教育」はとて大切なものなのです。

世界の現状を知ることは、日本の貧困問題を考える上でも必要なことだと思います。

決して遠くの話の出発点ではありません。一緒にその原因や解決方法を考えましょう。

**日本が援助をする理由は何だろうか？ THE REASON THAT JAPAN AID A FOREIGN COUNTRY**

日本が援助をする理由は、誰か助けを必要としている人々を助けることではありません。私たちの国や世界の他の国々で暮らしている人々の多くは、開発途上国から暮らしています。

日本の政府開発援助 (ODA) は、1954年10月6日コロンボ・プランに参加したことから始まり、世界には約150億人の人口があり、そのうち約10億人が貧困や貧困に苦しんでいます。

さらに、環境やエイズ問題など、地球規模の問題など、これらの問題の解決に向け、ODAを通じて貢献していくことは国際社会の一員として重要なことです！

資源や食料の多くを海外からの輸入に頼っている日本にとっては、ODAを通じて途上国の発展を支援し世界の安定と平和につなげていくことは、日本国の利益にもつながります。

**開発途上国が、日本の、そして世界の大切なパートナーだからです、積極的に援助をしていく必要があるのです。**

また、貧困は字の争いなどの根本的な原因にもなり、そのような開発途上国による開発として、イスなどの発展の遅れが受けられます。その解決のためにも、日本だけでなく世界規模で支援が行われています。

**互より情報！ ENCOURAGING INFORMATION**

**互より情報！**

政府開発援助プログラム

この政策における条件とは、まず必ず貧困削減に役立つと認められる。子どもは教育、健康に投資されるべきである。同時に、貧困削減は経済的な成長を促進するべきである。同時に、貧困削減は経済的な成長を促進するべきである。同時に、貧困削減は経済的な成長を促進するべきである。

この政策の成功は、世界には15億人の貧困者がいます。



# 振り返りシート



サイトの内容を楽しく振り返っていきましょう。

**該当するページを見たらチェックを入れていこう！**

## 未来予想図

**チェックリスト**...思いついたことや気が付いたことがあれば、四角い欄に書き込もう！

→  
チ  
エ  
ク  
ク  
！  
→  
備  
考  
欄

近年日本は、少子高齢化からより進行した少産多死社会に移行しつつある。

労働力人口は60年に3795万人と今より42%減少するとされている。

社会保障給付費は年々増加している。

やがて、一人の若者が一人の高齢者を支える肩車社会が来るとされている。

子供の貧困問題を改善することは、日本の未来を救うことになる。

**ヒント**...下の画像を参考に探してみよう！

**少子多死の時代が来る? THE YOUNG MAY COME LOW BIRTH HIGH DEATH**

日本が少子高齢化の先進国であることは、ニュースや様々な記事で取り上げられてきました。しかし、近年日本は、少子高齢化からより進行した**少産多死社会**に移行しつつあるのを知っていますか？

**少産多死とは WHAT IS "LOW BIRTH HIGH DEATH" ?**

日本で近年少子高齢化の進行に伴い、生まれてくる子供は少なく、寿命でとくるとる高齢者が多い「少産多死」の状態が急速に進んでいます。

日本の人口ピラミッドの変化

**労働者が足りなくなる? WORK FORCE WILL BE SHORT**

日本の人口の減少に伴い、**労働力人口も大きく減少**すると懸念されています。下のグラフをご覧ください。総務省の「労働力調査」によると、女性や高齢者の労働参加が全く見えない現状のままだと、**労働力人口は60年に3795万人と今より42%減少**すると予想されます。

例へ、出生率が2.07まで回復し、かつ女性がスウェーデン並みに働き、高齢者が現在よりも5年長く働いたとしても、2060年には5,500万人程度まで減少するといえます（一番右の棒グラフ）

労働人口が減少していくということは、高齢者を支える働き世代の割合が薄くなっていくということです。

**【労働力人口の推計】**

しかし現在、その**社会保障制度が行き詰っているのです！**

下のグラフをご覧ください。高齢化の進行に伴い、社会保障給付費は年々増加してきて、平成26年度の予算は約110兆円を超えたと見込まれています。

**【社会保障給付費の推移】**

上のグラフの通り、日本の出生率はこのままでは2060年までにどんどん減少し続けると懸念されています。出生率が低下し続けているのに、子供は少子化により減り続けています。よって、多くの老人が少い労働費を支えることになるのです。

**【対策】**

**「肩車型」社会へ**

今後、急速に進む高齢化が原因、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という肩車社会が訪れます。

場合、その子の生涯賃金は2億5,000万円、生涯で収入総額は3.010万円に上るとです。

**その差額は6,370万円になるのです！**

出典：「ネット教育研究会研究 結果 CO-60「異国が引き起こす子どもの経済・進学問題」フォーラム、キリストマ編【別冊】の部を参考に作成 (http://best.benesse.jp/special/co-bio-to-bo\_theme2-2.php)

生活保護は一度受給し始めると、そこから抜け出すのはかなり難しいです。また、生活保護受給者の子供は生活保護受給者になりやすい、という負の連鎖も引き起こします。

貧困の改善には、世帯への現金給付配付をはじめ、さまざまな施策が必要とされます。国の政策は大切な。奨学金制度など地方自治体が行っている事業も多く、自治体が生徒を取り組むことが大切だと感じます。

**子供の貧困問題を改善することは、別に1人の子供を救うだけでなく、日本の経済を、そして未来を救うことになるのです！**